

事業番号	11 07 01	事業改善シート (令和3年度実施事業分)		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検	
事業名	まちづくり推進費	部局	建設部	課・室	都市・まちづくり課
		実施期間	S43 ~	E-mail	toshi-machi@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	3-5 市街地の活性化と快適な生活空間の創造				

1 事業の概要

事業の現状・ 目指す姿 (予算編成時) 及び実施内容	【現状】 ○都市計画法第6条の規定により概ね5年ごとに人口、産業、土地利用等の都市計画に関する基礎調査を行い、これを踏まえ県内39都市計画区域について、概ね10年後を都市施設の目標年次として、都市計画区域マスタープランを定めている。また、同法第13条第1項第19号及び第21条第1項の規定により、各種都市計画決定(変更)は基礎調査の結果に基づいて行われている。 ○都市計画法第77条第1項の規定により、都道府県に都市計画審議会を置くとともに、同法第78条の規定により、都道府県に開発審査会を置くこととされている。
	【目指す姿】 ・信州地域デザインセンターにより広域的かつ専門的、多様な視点で市町村のまちづくり支援する。 ・都市計画基礎調査の結果を踏まえた、都市計画区域マスタープランや各種都市計画の決定を行う。 ・専門的な見地からの意見を反映した魅力的なまちづくりを推進する。
	【実施内容】 ・信州地域デザインセンター(UDC信州)による市町村へのまちづくり支援 ・都市計画基礎調査の実施 ・長野県都市計画審議会及び長野県開発審査会の開催

指標の状況及び目標値 [/ : 改善、\ : 悪化、→ : 変化なし、- : 数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度目標値	達成状況
1	市町村と協働のまちづくり新規実施件数	件数	19	7	\	4	\	3	達成
2	都市計画基礎調査実施市町村数 ※0内は累計	市町村	11 (27)	9 (36)	\	8 (44)	\	8 (44)	達成
3									
4									
5									

区分(単位:千円)		R1年度	R2年度	R3年度
事業コスト	前年度繰越額	0	15,751	9,741
	当初予算額	49,190	56,005	42,297
	補正予算額	0	△ 500	28,000
	合計(A)	49,190	71,256	80,038
	うち一般財源	48,518	64,237	52,017
	決算額(B)	42,105	64,237	76,695
職員数(人)		2.8	4.8	4.8

成果指標及び目標値の設定理由	1.UDC信州の活動を通じて、地域主体のまちづくりを推進していくため、R2年度より新規実施案件数(毎年3件)を指標とした。 2.都市計画区域指定の全44市町村について、一体的な土地利用の隣接市町村が同時に調査が実施できるよう配慮した上で、各市町村が概ね5年毎に調査が実施できる数値を設定。
達成状況の分析	1.R2年度の新規案件7件と比較した場合は悪化したが、目標値の3件は達成。ただし、R3年度の相談件数は9件と多く、UDC信州が機能していると評価できる。(5件は今後の進め方を検討中) 2.対象となる市町村に対して、年度当初の周知や建設事務所を通して地域ごとの調整を行ったため。

主な取組	<p>✓ 信州地域デザインセンター(UDC信州)の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> まちづくりの専門機関として県内市町村が抱えるまちづくりに関する課題の解決をサポート。(R3年度末までに57件の相談をサポート) R3年度は、構想(ビジョン)策定に向けた、社会実験やワークショップの支援、プラットフォームの設置支援等を実施。 設立2周年記念シンポジウムやまちづくりセミナー等を開催した。(シンポジウム出席者:約160名、セミナー開催数:3回)
	<p>✓ 都市計画区域マスタープランの見直し、都市計画基礎調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 合理的かつ公平・公正な都市計画の推進のため、都市計画法第6条の規定による基礎調査を概ね5年ごとに実施し、都市における人口、土地利用等のデータを収集。



【写真】
左: 広域シェアサイクルの社会実験
中央: 高校生と実施した探究授業の成果を市長報告
右: 2周年シンポジウム(オンライン)

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> 相談の件数の増加に対し、各支援レベルを維持していく必要がある。 市町村のまちづくりの動きを加速させ、持続的で目に見える成果を出しながら、県としてUDC信州を設置した効果をPRしていく必要がある。 個人情報保護の観点から都市計画基礎調査のデータのオープン化が進んでいない。 	<ul style="list-style-type: none"> 優先順位を付けて効率よい対応に心掛けるとともに、庁内他部局、現地機関、関係団体とより一層連携して取組みを進める。 重点プロジェクトを中心に具体的な提案を示しながら、プロセスの途中であっても社会実験等の対外的な動きにつながるような取組みを進めるとともに、SNS等を活用したより積極的な情報発信に努める。 個人情報や秘匿した情報公開の在り方を検討し、国交省のガイドラインを踏まえた都市計画調査結果の概要版を公表する等、データのオープン化に対応。

事業名	まちづくり推進費	部局	建設部	課・室	都市・まちづくり課
-----	----------	----	-----	-----	-----------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	都市計画諸費	736 千円	833 千円	891 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	都市計画審議会の開催	直接	都市計画に関する事項の法定審議等を行うため、都市計画審議会を4回開催【都市計画道路の変更:4件(法定審議) 区域マスタープランの変更:3件(法定審議) 区域区分の変更:3件(法定審議) など】	
2	都市計画審議会環境影響評価専門委員会の開催	直接	専門委員会を開催する必要のある案件がなかったため未開催	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
2	都市計画推進費	40,709 千円	62,767 千円	75,121 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	都市計画基礎調査業務委託	委託	人口、産業、土地利用等の都市計画に関する基礎調査を8市町村で実施【小諸市、上田市、下諏訪町、etc.】	
2	信州地域デザインセンター事業	直接	信州地域デザインセンターを運営し、まちづくり支援、まちづくりセミナー等を実施【まちづくり支援件数:16件、セミナー開催回数:3回】	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
3	住宅総務費(開発審査会)	660 千円	637 千円	683 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	開発審査会	直接	開発許可に関する事項の法定審議等を行うため開発審査会を年7回開催【13件(長野地域4件、松本地域9件)】	